

平成31年度金沢大学派遣留学生募集要項
(韓国・オーストラリア・ブラジル対象)
[3次募集(春募集)]

1. 目的

本学と学生交流の覚書を締結している海外の大学に本学学生を交換留学生として派遣することを目的とする。

2. 派遣期間

3か月以上1年以内

なお、本募集における留学の開始は、原則として2020年1月から3月までの間とし、派遣先大学の学年暦の最初の学期に合わせることを。

3. 対象地域

本学交流協定校のうち、別紙に掲げるもの。

4. 応募資格

- ① 平成31年4月1日現在、本学の正規の課程に在籍している学生（学域生及び大学院生）（日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度（協定派遣）による派遣留学の場合は、外国人留学生を除く。）
- ② GPA2.0以上で、人物等に優れている者
- ③ 派遣先大学での学修に支障のない水準の語学力を有する者
- ④ 目的及び計画が明確であり、派遣により十分な成果が期待される者
- ⑤ 留学期間満了後、本学に戻り学業を継続する者
- ⑥ 部局間交流協定校への派遣の場合は、当該部局に所属する者
- ⑦ 英語を使用する大学への派遣留学を希望する者は、TOEFL-iBT 60点以上、IELTS 5.5以上のスコアを有していること
ただし、協定校から求められるスコアが上記の点数以下の場合は、この限りではない。

5. 応募方法

『派遣留学の手引き2018』で注意事項を確認の上、以下の 書類を揃えて所属する学域・研究科の学務係へ提出すること。また、応募に必要な様式は、すべて『金沢大学派遣留学HP』からダウンロードして用いること。

（金沢大学HPから「派遣留学」で検索。URLは、

<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/category/studyabroad/>）

- ① 派遣留学計画書（手書きではなく、パソコンで作成すること。計3ページ。）
- ② 派遣留学候補者推薦書（原則、指導教員又はアドバイザー教員から推薦してもらうこと。）
- ③ 学業成績証明書（大学院生で他大学の学部卒業生及び編入学歴のある学域生のみ必要。1年次からの分。）※本学学域在籍者及び卒業生は不要。
- ④ 語学能力を証明する書類
 - i. 派遣希望大学の使用言語が英語の場合は、『派遣留学の手引き2018』を必ず確認のうえ、2年間の有効期限内のTOEFL-iBTもしくはIELTSのスコアカードの写しを提出すること。（TOEFL-ITPのスコアは受け付けない。）
 - ii. 派遣希望大学の使用言語が英語以外の場合も、公式に行われる当該言語の検定試験のスコアカード等を可能な限り提出すること。
- ⑤ 誓約書（保証人のサインが必要。）

6. 派遣留学のための奨学金（給付型）

奨学金の詳細は、『金沢大学派遣留学HP』、『派遣留学の手引き 2018』又は別紙『派遣留学のための奨学金リスト』を参照のこと。

※以下の①②の奨学金を希望する場合は、派遣留学計画書の該当欄に、必ずチェック（✓）を入れること。以下の③の奨学金を希望する場合は、留学から帰国後の修業年限を越える年の4月又は10月に申請すること。

<注意！>

①、②については、当該年度の予算によって支給人数が変動します。希望者全員に支給されるものではありません。*日本学生支援機構（JASSO）第二種奨学金（短期留学）制度<貸与型>や、個人で応募が必要な民間奨学金についても、自ら積極的に情報を集め、応募するようにしてください。

*日本学生支援機構（JASSO）第二種奨学金（短期留学）制度<貸与型>の詳細については、学生支援課学生支援係（奨学金担当係：本部棟2階）へ問い合わせてください。

- ① 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金
 - 支給月額：6万、7万、8万、10万円（派遣先地域により異なる。）
 - 対象：日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者、JASSOの算出方法による出発前年度の成績評価係数が原則2.3以上(3.00満点)の者 ほか
 - 支給予定人数：若干名
- ② スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠 a
 - 支給金額：JASSOの成績基準を満たす者：JASSOと同額・同じ給付期間
上記の者であっても予算の範囲を超える場合
および JASSOの成績係数を満たさない者：JASSOと同額を1か月分のみ支給
 - 対象：本学に在籍する正規生で、本学と派遣留学制度で学術交流協定を締結する海外の大学へ留学する者、かつ、JASSO等の外部奨学金を受けられない者
 - 支給予定人数：若干名
- ③ スタディアブロード奨学金 在籍延長支援枠
 - 支給金額：年額50万円（半期：25万円、クォーター：12万5千円）
 - 対象：留学許可を得て海外留学することによって、修業年限（標準修業年限）を超えて在籍する必要が生じた者

7. 応募締切

2019年5月8日（水） 13：00（時間厳守）

※所属する学域・研究科の学務係へ必要書類を提出すること。

8. 派遣留学候補者の決定

- (ア) 応募者からの提出書類に基づき書類審査を行い、審査に合格した者に対し、5月下旬頃に面接試験を行う。応募者個人の予定は考慮しないので注意すること。
- (イ) 派遣留学候補者としての採否の決定通知は、7月中旬頃の予定。
- (ウ) 派遣希望大学の使用言語が英語の場合、大学の要求する水準に達しない候補者は、採用が取り消されることもある。

担当：国際部留学企画課留学推進係
TEL:264-6193
E-mail:studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp

【別紙】平成31年度金沢大学派遣留学生募集(韓国・オーストラリア・ブラジル対象)
[3次募集(春募集)] 対象大学一覧

国・地域名	協定大学名	応募の対象となる 学域・研究科等	人数	参考点等
大韓民国	東亜大学	全学	2	学部の授業を受ける場合は、1年以上の韓国語学習歴が必要。ない場合は韓国語講座受講。
	釜山大学	全学	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	釜慶大学	全学	5	韓国語に関するスコアがあれば提出。英語で受けられる授業あり。
	湖西大学	全学	2	韓国語能力が高くない場合、文化企画学科で受入可。韓国語の語学コースは授業料負担。
	漢陽大学	全学	2	持っていれば提出 (TOEFL/TOEIC/IELTS/TOPIK)
	金烏工科大学	全学	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	翰林大学人文学部	人間社会学域	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	仁荷大学文学部	人間社会環境研究科・人間社会学域	2	英語: TOEFL-iBT57 韓国語: TOPIK Level 2
	ウルサン大学医学部	医学系研究科・医学類	2	韓国語必要。必要スコアはコースによる。コースによっては英語も必要。
オーストラリア	オーストラリア国立大学	全学	2	IELTS6.5(すべてのセクションで6.0以上) TOEFL-iBT80(Readingで20以上、Writing・Speaking・Listeningで18以上)
	シドニー工科大学	全学	5	【学部レベルのコース】 IELTS6.5(Writingセクションで6.0以上) TOEFL-iBT79(Writingセクションで21以上) 【Australian Language and Culture Studies】 IELTS5.0(Writingセクションで5.0以上) TOEFL-iBT35(Writingセクションで17以上)
	ニューイングランド大学	全学	2	IELTS6.0(すべてのセクションで5.5以上) TOEFL-iBT79(Writingセクションで22以上)
	チャールズ・ダーウィン大学	全学	1	IELTS 6.0(すべてのセクションで6.0以上) TOEFL-iBT 60(Writingセクションで2以上)
	南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群	理工学域(旧工学部分野)	2	IELTS6.0 TOEFL-iBT79
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学	全学	5	CELPE-BRAS(ポルトガル語能力試験)の「Intermediario Superior」中上級レベル推奨
	アマゾンナス連邦大学	全学	5	学部に留学する場合、語学力の条件は特に設けていないが、授業を理解するには、CELPE-BRAS(ポルトガル語能力試験)中級レベルが推奨される。修士・博士課程に留学する場合は、CELPE-BRAS中級・上級レベルを必要とする。

FAQ 派遣留学応募時のよくある質問（3次募集用）

Q 1 : オーストラリア等の英語圏の大学を希望する場合のみ、英語のスコアを提出すればよいのか？

A 1 : いいえ。オーストラリア以外の国へ留学する場合（例：韓国等）も、留学先での使用言語が英語であれば、英語スコアを提出しなければなりません。スコアがなければ、書類不備で不合格となります。また、TOEFL iBT や IELTS は、結果がでるまでには時間がかかります。必ず自分で試験日程を調べて、派遣留学申請締切までにスコアを提出できるよう、計画的に受験してください。

<http://www.ets.org/jp/toefl/ibt/register>

<http://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/>

Q 2 : 提出する英語のスコアは、オンラインスコアでもよいのか？

A 2 : 正式な紙のスコアの到着に時間がかかる場合は、オンラインで確認できるスコアを印刷し、提出していただいても構いません。ただし、オンラインのスコアの場合は、名前とスコアが同時にわかるページを印刷してください。スコアと同じページに名前の記載がない場合は、受験表など受験番号と名前が確認できる書類の写しを補足資料として提出してください。

正式な紙のスコアを提出する場合は、本紙ではなくコピーを提出してください。

Q 3 : 「派遣留学計画書」はどのように作成すればよいのか？

A 3 : 様式を下記 HP からダウンロードし、パソコンで入力したものを印刷して提出してください。

○2 ページ目「5. 派遣留学の目的及び計画等」は以下の書式・内容にしてください。

※第一希望の大学について記載すること。

- ・日本語で記載すること。
- ・文字の大きさは変えないこと（12 ポイント）
- ・①～⑤のポイントをすべて含めつつ、かつ全体で 1 ページに収まるようにまとめること。
- ・箇条書きではなく、文章で作成すること。
- ・具体的かつ実現可能な内容を記述すること。

- ①応募理由（なぜ派遣留学に応募したのか）
- ②派遣留学の目的と達成したい目標
- ③②の目標を達成するための留学先での学習計画
- ④派遣留学先の大学でどのような貢献ができるか
- ⑤帰国後、派遣留学から得た知見・経験をどのように金沢大学に還元できるか。

○3 ページ目「6. 志望動機と留学の目的について」は以下の書式・内容にしてください。

- ・派遣留学希望大学において使用予定の言語で作成すること。（「派遣留学計画書 3. 派遣留学希望大学及び留学希望期間」で記載した言語）
- ・文字の大きさは変えないこと（12 ポイント）
- ・英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語は 300 語程度にまとめること。
- ・中国語、韓国語は 800 文字程度にまとめること。

【様式掲載先】 <https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/formatsforkustudents/>

Q 4 : 第一希望と第二希望で使用言語の違う大学を志望してもよいか？

A 4 : 1 回の募集では、同じ言語を志望してください。同じ使用言語であれば、第一希望と第二希望の国が違って構いません。

- :第一志望 韓国の大学で英語 第二希望 オーストラリアの大学で英語
×:第一志望 韓国の大学で韓国語 第二希望 オーストラリアの大学で英語

Q 5 : 派遣留学の奨学金はどうやって申し込めばよいのか。

A 5 : ①日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）と②スタディーアブロード奨学金「学域・大学院派遣枠 a」の奨学金の申請を希望する場合は、「派遣留学計画書」の派遣留学計画欄の奨学金の項目で、「希望する」にチェックをいれてください。①②ともに当該年度の予算や各奨学金の条件等を考慮して大学が割り当てを行います。ただし、これらの奨学金はその年度の予算によって支給者数が変動するため、希望者全員に支給されるわけではありません。

必ず、その他民間奨学団体の奨学金についても自ら積極的に情報を集め、応募時期や決定時期も確認した上で応募するようにしてください。

※奨学金の詳細は、「派遣留学の手引き」P 19 または別紙「平成 31 年度出発派遣留学生のための奨学金リスト」を参照してください。